

令和2年度
第5回加賀市健康福祉審議会高齢者分科会会議録

日 時：令和3年2月4日（木）午後1時30分～2時10分

場 所：加賀市役所別館3階 302・303会議室

出席委員：◎橘、寺田、河嶋、○吉野、浅野、本間、中野、中村、荒木、石川、澤田、
見付、鹿野、中屋

欠席委員：湯谷、小林、鈴木 (敬称略・◎会長、○副会長)

次第

開 会
議 題

1. サービス見込量と介護保険料について 【資料1】
2. 高齢者お達者プラン（案）の修正について 【資料2】【資料2付表】
3. 高齢者お達者プラン（案）の答申について 【資料3】

閉 会

議事要旨

議題1 サービス見込量と介護保険料について 資料1

質疑応答 特になし

議題2 高齢者お達者プラン（案）の修正について 資料2、資料2付表

質疑応答

本間委員 基本目標にある「地域で安心して生活し続けることができる体制づくり」について、行政も地域の各団体と共に取り組んでいると思います。また、身近な地域で施設や事業所を増やしてほしいが、これ以上介護保険料は上げないでほしいという考え方もあるかと思っています。介護保険制度が将来にわたって維持継続していくためには我々を含めた皆さんの努力と協力が必要になってくると思います。例えば一人暮らしの高齢者に対して見守り、話し相手や買い物のお手伝い、病院の付き添い、掃除やゴミ出しの手伝い、公民館での電話相談や集いの場を設けるなどです。別の市の取組みでは100均食堂と称して男性高齢者の地域参加の場を設けており、毎週金曜日で集会場で100円のランチを提供する事業を通して世代を超えた社会参加活動を行っているところもあります。別の自治体では地域福祉塾というものを新設して、自治会、社会福祉協議会、地域包括支援センター、民生委員など色々な団体を含めて自治会福祉5年計画を作り、配食や見守りを含めた支援を行っています。

こういった他市町の事例などを皆さんにお知らせして共に協力できる関係を構築できればと思います。介護保険料についてもあまり上がらず、地域が住みやすく、便利で優しいということも大事かと思えます。また、介護職員については年収200万円、300万円台で働いている方もいらっしゃいます。年収を上げようと思えば財源は介護保険料となりますが、それも困る話です。しかし、高齢者が地域で支えられていれば草むしりやゴミ出しは住民で行い、オムツの交換や入浴の介助は事業所の職員が行うなど、皆が協力できる地域であれば、自分たちの子や孫が給料は安くても、高齢者に皆が手を貸してくれる楽しい地域で働き甲斐があるということになってくると思います。そういったことを行政、地域包括支援センター、各種団体がリーダーシップをとって、地域づくりを進めて頂きたいとお願ひします。

事務局 加賀市の方針は基本的には、皆さんにやっていただくというよりは、まずは皆さんで考えていただいて必要なことを行っていただくという流れになっております。具体的には、資料の31ページにある地区地域ケア会議の実施や軒下マップの活用などで地域や個人の課題を話し合っただけという取組みを行っております。また、他市の好事例については情報提供を行っていききたい。こちらからこれをやってくださいという形でお願ひしてもうまいかないのが今までのパターンでしたので、一緒にやらせていただく形で進めていきたい。

本間委員 地域の中でも、それだったら協力するという方もいらっしゃると思ひます。市は各種団体と連携しながら強いリーダーシップをお願ひしたい。別件で人材確保についてです。現在人材確保は大変な状況ですが、将来的に人材確保を進めて新規の小規模多機能型居宅介護事業所を整備することが書かれています。しかし、現在利用希望があるにもかかわらず介護人材の不足によりサービスを休止している既存サービスが利用者規模で数十名あります。地域密着型サービスの一つである認知症対応型共同生活介護では市内で27名ほどのサービスを休止しています。特別養護老人ホームやその他の入所系サービスでも数十名規模で同じようなことが起きていると思ひます。まずは人員が足りなくて休止している既存のサービスの人員確保に目途を付けて、その上で新たな事業所の公募を行うことが筋ではないかと思ひますが、市としてはいかがでしょうか。

事務局 まず一つに、サービスの種類によって利用する方は異なります。その点は考慮する必要があります。また、本間委員が言われたように認知症対応型共同生活介護については現在27名分が休止となっていますが、それらの再開に向けて人材確保に取り組むということは計画案に記載しております。人材確保はどうしても避けて通れない問題ではありますが、これができていないから整備を行わないというものでもないと思ひます。それぞれのサービスごとに必要な人材は異なりますので、整備ができるかできないかはその時の状

況で必要性を判断していきます。現在休止している事業所の再開が優先であると思っておりますが、それがあから他のものをやらないとは考えておらず、必要性などを考えながら進めていきたいと考えています。

橘会長 人材確保というのは少子高齢化の中で大変な問題で、医師も看護師も加賀市には足りませんし、介護人材も当然足りませんので頭の痛い話ですが、来年度も引き続き議論をしなければいけない一番難しい問題だと思います。他にご意見、ご質問はありませんか。それでは他に意見が無いようですので、こちらの審議内容について承認をとりたいと思います。文章はこの通りで「高齢者お達者プラン（案）」を承認したいと思いますが、いかがでしょうか。よければ拍手で承認を得たいと思います。

(拍手多数)

橘会長 皆様の拍手で同意を得られたと思いますので、承認したいと思います。委員の皆様ありがとうございました。

議題3 高齢者お達者プラン（案）の答申について 資料3

質疑応答 特になし

閉会